

「京都駅西部エリア活性化将来構想（案）」の市民意見募集結果

1 募集期間

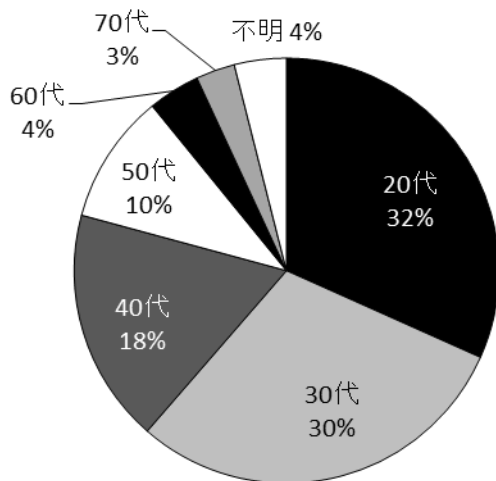
平成27年2月10日（火）～同年3月11日（水）

2 意見数

御意見者数 193名
御意見数 419件

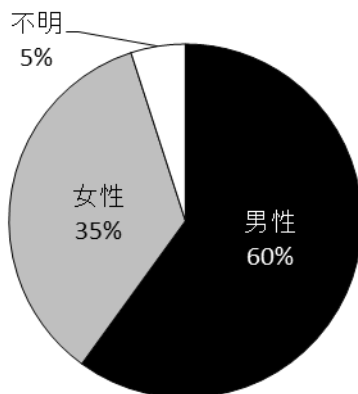
3 御意見をいただいた方の属性

(1) 年齢別



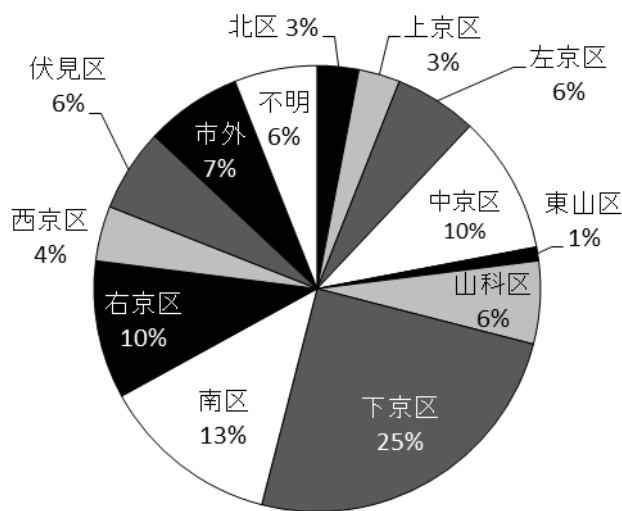
年代	人数	割合
20代	61	32%
30代	58	30%
40代	34	18%
50代	20	10%
60代	7	4%
70代	5	3%
不明	8	4%
合計	193	100%

(2) 性別



性別	人数	割合
男性	115	60%
女性	68	35%
不明	10	5%
合計	193	100%

(3) 区分別



行政区等	人数	割合
北 区	5	3%
上京区	5	3%
左京区	12	6%
中京区	20	10%
東山区	2	1%
山科区	12	6%
下京区	49	25%
南 区	25	13%
右京区	19	10%
西京区	8	4%
伏見区	11	6%
市 外	14	7%
不 明	11	6%
合 計	193	100%

※ 表示している数値は端数を四捨五入しているため、表中の合計値と各要素を合計した数値が合わない場合があります。

4 御意見の分類と件数

分 類	件数
構想策定の基本事項や将来ビジョン等	54
仕組み①：人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現する交通戦略	170
仕組み②：京都ならではの地域力・市民力をいかした「まちづくりの仕組み」の構築	7
方 策①：緑やうるおいを感じられるまちなか居住の推進	12
方 策②：梅小路公園の拠点機能の強化	43
方 策③：京都・日本の食文化の牽引	13
方 策④：地域に密着した商店街の活性化	38
方 策⑤：K R Pを核とした新事業・ソーシャルビジネスの創出	1
方 策⑥：鉄道の聖地としての飛躍	15
方 策⑦：新たな地域資源の創出と歴史・文化資源の継承	38
方 策⑧：低・未利用地（公有地・民有地問わず）の戦略的活用の促進	16
進捗管理	3
その他	9
合 計	419

5 市民の皆様からの御意見とそれに対する考え方

別添資料のとおり

〈主な御意見〉

意見概要	件数	本市の考え方
J R 新駅設置によるアクセスの向上に期待している。(23件)	29	平成31年春のJ R 新駅開業に向けて、西日本旅客鉄道株式会社と連携し、取り組んでまいります。
J R 新駅をできるだけ早く設置して欲しい。(6件)		
安心かつ安全に歩ける歩行者環境の整備を望む(街灯の増設等)。	28	街灯の設置等、安心かつ安全に歩けることはもとより、案内サインの新設やモニュメントの設置など、迷わずスムーズに、かつ、楽しく快適に移動できるよう、歩行者環境の整備に取り組んでまいります。
将来構想が着実に推進され、エリアが活性化し、京都全体が大きく飛躍することを期待している。	24	本エリアは、多彩な地域資源が集積しており、京都の成長戦略を推進し、都市格を高めていくうえで大変重要な地域です。本将来構想を着実かつ強力で推進し、周辺地域の活性化の動きと一体となって、京都全体の大きな飛躍につなげてまいります。

6 市民の皆様からの御意見の答申への反映

- 「早朝や夜間に、賑わいが創出できる取組を検討すべきである。」と御意見を踏まえ、方策7 - 推進項目6「新たな来訪者の層の発掘」に追記します。

これまで歴史に興味を持てなかった人にもその魅力を発見してもらい、より幅広い層に来訪していただくため、歴史的な魅力を有する施設と、水族館・鉄道博物館のような子どもたちに人気の施設が連携した企画を実施する。

また、様々な地域資源が連携し、早朝や夜間の時間帯に楽しめる企画を実施するなど、新たな賑わいの創出に取り組む。

- 「イラストがあれば、より分かりやすい将来構想になると思う。」との御意見を踏まえ、写真等を挿入します。

意見概要	件数	本市の考え方
〈構想策定の基本事項や将来ビジョン等〉 54件		
将来構想が着実に推進され、エリアが活性化し、京都全体が大きく飛躍することを期待している。	24	本エリアは、多彩な地域資源が集積しており、京都の成長戦略を推進し、都市格を高めていくうえで大変重要な地域です。本将来構想を着実かつ強力で推進し、周辺地域の活性化の動きと一体となって、京都全体の大きな飛躍につなげてまいります。
幅広い世代の人々を想定した将来構想とすべきである。	1	居住・業務・集客を視点として、幅広い世代の人々を対象に本将来構想を策定しています。幅広い世代の人々に、本エリアにおける「京都の新しい賑わい」を実感していただけるよう、取り組んでまいります。
「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」という将来ビジョンに賛同する。	4	本エリアは、多彩な地域資源が集積しており、「居住」「業務」「集客」それぞれの面で、大きなポテンシャルを有している地域であり、本将来構想もそれらを視点に策定しています。
「集客」だけでなく、「居住」「業務」についても、本エリアが活性化することを望む。	7	本将来構想を着実かつ強力で推進し、「住みやすく」「働きやすく」「楽しめる」まちを目指してまいります。
「集客」が期待できるエリアである。	1	
「食」と「宿泊」に重点を置いて、活性化に取り組むべきである。	1	
全ての地域主体が将来ビジョンを共有するためには、本将来構想を積極的に周知する必要がある。	2	将来構想は、「すべての地域主体が将来ビジョンを共有し、民間活力と京都市の施策を融合させる。」という考え方のもとに策定し、将来ビジョンとして「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」を掲げています。
京都市だけでなく、民間活力を積極的に活用し、活性化に取り組んでほしい。	2	構想の推進に当たっては、民間事業者や地元など、多様な地域主体との連携、多彩な地域資源の活用により、本エリアの活性化に取り組んでまいります。
京都市が積極的に本エリアの活性化に取り組まなければならない。	1	
これまで「課題」と考えてきたことを「ポテンシャル」として捉え直すという考え方に、賛同する。	2	
個々の資源のポテンシャルを結びつけることによって、新たな可能性を追求するという考え方に、賛同する。	2	
京都市立芸術大学が移転する京都駅東部エリアと一体となった取組が必要である。	1	
より多くの観光客を呼び込むために、岡崎地域と連携した取組を実施すべきである。	1	
構想の推進に当たっては、エリアを絞って、集中的に取り組むべきである。	2	
今すぐに活性化に取り組むべきである。	1	
将来構想の策定よりも、個別の施策に税金を投入すべきである。	1	
総花的な構想であり、エリアの特性がもっといかせる方策を検討すべきである。	1	

意見概要	件数	本市の考え方
◀仕組み①:人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現する交通戦略▶ 170件		
JR新駅を軸に、公共交通の利便性向上を図り、エリアへのアクセスの更なる向上に努めるべきである。	12	平成31年春に開業するJR新駅を軸に、鉄道・路線バス等の公共交通機関の利便性を図り、本エリアのアクセスを向上させ、地域の活性化につなげるとともに、車利用から公共交通への更なる転換を図ってまいります。
JR新駅設置によるアクセスの向上に期待している。	23	平成31年春のJR新駅開業に向けて、西日本旅客鉄道株式会社(以下「JR西日本」といいます。)と連携し、取り組んでまいります。
JR新駅をできるだけ早く設置して欲しい。	6	
JR嵯峨野線を増便して欲しい。	2	
JR新駅のバリアフリー化を望む。	1	
JR新駅及びJR西大路駅に、ホームドアを設置して欲しい。	1	安全で誰もが利用しやすい駅となるよう、JR西日本と連携して、取り組んでまいります。
JR新駅周辺で、七条通の南北が自由に行き来できるようにしてほしい。	2	
七条通を跨ぐ歩道橋はバリアフリー対応とし、屋根を設置して欲しい。	1	
JR新駅において、本エリアの情報を発信してはいかがか。	1	エリアの中心に位置し、発展の核となる梅小路公園に隣接したJR新駅において、情報発信を行うことは有意義であると考えており、JR西日本と協議してまいります。
JR新駅に、ターミナルとしての機能を持たせて欲しい。	3	JR新駅の設置、駅周辺の整備と合わせて、バスによるアクセスの充実を図り、JR新駅がターミナルとしての機能を有するよう、取り組んでまいります。
エリア内に路線バスのターミナルや観光バス駐車場を整備すべきである。	2	バスによるアクセスの充実に取り組むうえで、参考にさせていただきます。 なお、バス停の名称については、平成27年3月21日に、現在の「梅小路公園前」停留所名を「七条壬生川」に名称変更し、更に、梅小路公園七条入口付近に「梅小路公園前」停留所を新設します。
バス停の名称を分かりやすくして欲しい。	1	
車利用から公共交通への更なる転換を促進するために、安価なバスを運行してはいかがか。	2	
東寺・久我石原町行きバスを増便して欲しい。	1	
七条七本松にバス停を新設して欲しい。	1	
東寺・水族館・西本願寺エクスプレスは、京都鉄道博物館が開業し、京都駅南口の整備が完了するまで運行を中止した方が良い。	1	
JR新駅とKRP間でBRTを運行して欲しい。	1	
BRTについては、本エリアではなく、他のエリア(東大路通)で取り組んで欲しい。	1	
次世代型バスシステムのイメージが湧かない。	1	

「京都駅西部エリア活性化将来構想(案)」市民意見募集結果

意見概要	件数	本市の考え方
京都駅南口駅前広場の整備は、既に工事に着手されており、将来構想に掲げるのは適当ではないと思う。	1	「京都の玄関口であるJR京都駅が、本エリア内にある。」というポテンシャルを最大限いかすために、「京都駅南口駅前広場の整備」を本将来構想に位置付けています。
JR西大路駅のバリアフリー化を望む。	2	JR西大路駅について、駅や周辺の道路等のバリアフリー化整備を進めてまいります。
JR丹波口駅を、周囲の景観に合うように、改修してはどうか。	1	公共交通利用促進やアクセス向上を図るうえで、参考にさせていただくとともに、御意見につきましては、関係事業者にお伝えさせていただきます。
近鉄東寺駅の出入口を増やして欲しい。	1	
京福四条大宮駅から京都駅まで、路面電車を走行させてほしい。	1	
七条通に路面電車を走らせ、本エリアと東山文化ゾーンをつないでほしい。	1	
リニア中央新幹線を京都に誘致しなければならない。	1	
駐車場の増設を望む。	7	人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
車道の整備にも力を入れるべきである(京都市中央市場周辺等)。	2	
安心かつ安全に歩ける歩行者環境の整備を望む(街灯の増設等)。	28	街灯の設置等、安心かつ安全に歩けることはもとより、案内サインの新設やモニュメントの設置など、迷わずスムーズに、かつ、楽しく快適に移動できるよう、歩行者環境の整備に取り組んでまいります。
迷わずスムーズに移動できるよう、案内板を増やして欲しい。	7	
モニュメントを設置する、歩道上にペイントを行うなどして、楽しく快適に移動できるようにして欲しい。	13	
JR京都線の南北を自由に行き来できるようにして欲しい。	2	
エリア内に、トイレや休憩場所等を増やして欲しい。	6	
ゴミ箱を増設して欲しい。	3	
路上喫煙をなくすためにも、喫煙スペースを設けてほしい。	1	
バスによるアクセスの充実や、自転車利用の促進に取り組むべきである。	1	快適、便利に移動できる道路空間、公共交通の整備や利便性向上等に取り組む、「歩いて楽しいまちづくり」を推進してまいります。

意見概要	件数	本市の考え方
自転車の走行環境を整備してほしい。	4	JR新駅周辺の駐輪場整備、七条通における自転車走行環境の整備や、より利便性の高いレンタサイクルの導入に取り組み、自転車による回遊性の向上を図ってまいります。
エリア内(特に駅周辺)に、駐輪場を増やして欲しい。	5	
より利便性の高いレンタサイクルの導入に取り組んでほしい。	6	
京都駅西部エリアを、「10万台の電動自転車」が走る、未来志向の電動自転車タウンにしてはどうか。	1	
使いやすい人力車・ペロタクシーがあれば、面白い。	1	本エリアは非常に広く、多彩な地域資源がエリア内の様々な場所にあります。エリアをより楽しんでいただくためには、ペロタクシーや人力車等、楽しみながら利用できる乗り物が便利であると考えており、事業者の誘致等に取り組んでまいります。
ペロタクシーや人力車等を誘致するに当たっては、環境が整っているか等、慎重な検討が必要である。	1	
エリアマップの内容を充実させる(例:飲食や休憩ができる場所を記載する)とともに、配布場所も増やして欲しい。	7	現在、京都市において、マップ型情報冊子「京都しもしに通めぐり」を発行し、エリア内の集客施設等で配布しています。引き続き、「より多くの方々に」「よりわかりやすく」「より便利」なものとなるよう、内容の充実等を検討してまいります。
京都駅の総合案内所の場所が分かりにくい。また、案内所の数を増やして欲しい。	2	京都の玄関口であるJR京都駅において、情報発信を行うことは有意義であり、案内所の役割は重要であると考えておりますので、関係事業者と協議してまいります。
列車内から見えるような看板を設置してほしい。	1	本エリアに来訪された方にエリア内を回遊していただくためには、よりきめ細かい情報を発信していくことが必要であると考えており、様々な媒体の活用を検討してまいります。
タクシーの乗務員は、京都のまちをよく知っているのので、タクシー会社と連携し、京都駅西部エリアの情報発信をしてはどうか。	1	
《仕組み②: 京都ならではの地域力・市民力をいかした「まちづくりの仕組み」の構築》 7件		
地域が主体となって、まちづくりに取り組む機運を高めていかなければならない。	5	本エリアの活性化については、民間活力と京都市の施策を融合させて、進めていかなければならないと考えております。多様な地域主体が主体的かつ積極的に地域の活性化に取り組む機運が醸成されるよう、エリアマネジメント組織の設立等に取り組んでまいります。
本エリアに関わるより多くの人、自らのまちに対する愛着を深めるためには、京都市の仕掛けが必要である。	1	
まちづくりの担い手の確保、リーダーの育成を具体的にどう進めていくのか、今後に期待している。	1	
《方策①: 緑やうるおいを感じられるまちなか居住の推進》 12件		
医療・福祉施設等の充実や、地域コミュニティの活性化などにより、互いに支え合い、誰もが安心して快適に暮らすことができるまちになることを望む。	6	「居住」の視点からの本エリアの活性化イメージを「全ての居住者が安心して暮らし、文化を楽しむまち」としてしています。活性化イメージの実現に向けて、緑やうるおいを感じられるまちなか居住の推進に取り組んでまいります。
地域住民が安心して快適に暮らせる地域にすることが、第一である。	4	
梅小路公園以外の緑あふれる施設や広大な空間の活用も検討すべきである。	1	本エリアのポテンシャルの一つである「緑やうるおい豊かな空間」を最大限いかしながら、居住環境のより一層の向上を図ってまいります。
本エリアの町並みの保存・再生に取り組んで欲しい。	1	京都らしい町並みを保全・再生しながら、空き家等の活用・利用の促進を図り、多様なニーズに対応できる居住空間を創出してまいります。

意見概要	件数	本市の考え方
〈方策②:梅小路公園の拠点機能の強化〉 43件		
梅小路公園は、本エリアの活性化を牽引することができると思う。	2	梅小路公園は、憩いと賑わいの一大拠点への進化を遂げつつあります。平成28年春の京都鉄道博物館の開業や平成31年春のJR新駅の設置を新たな契機として、梅小路公園の魅力を高めるとともに、梅小路公園に生み出された新たな人の流れをエリア全体に波及させ、活性化につなげていきたいと考えています。
施設整備等により、梅小路公園の魅力を更に高めてほしい。	2	
梅小路公園の魅力を発信するために、ゆるキャラを考えてみてはいかがか。	1	
梅小路公園の緑豊かな憩いの空間としての魅力を高め、その魅力を積極的に発信して欲しい(梅林の再整備等)。	3	
梅小路公園の自然をいかした環境教育の充実に取り組んで欲しい。	1	
梅小路公園を、市民の健康増進のための活動に利用しやすい場所にして欲しい(例:マラソンコースの設置)。	1	
梅小路公園でイベントを積極的に開催すべきである。	5	
梅小路公園を、新しいビジネスを創造する場として活用したい。	1	
梅小路公園内の総合案内所で、市内の他のエリアも含めた、総合的な案内を行って欲しい。	2	
梅小路公園内の総合案内所で、外国人観光客に対応できる方を講じることは、有意義である。	1	
梅小路公園内のトイレや休憩場所等を充実して欲しい。	13	
梅小路公園の案内表示を改善して欲しい。	1	
梅小路公園の遊具を増やして欲しい。	2	
梅小路公園内に、ペットと触れ合える施設を作って欲しい。	1	
照明設備を設置するなどして、夜でも、梅小路公園で、安心・安全に過ごせるようにして欲しい。	3	
梅小路公園の園路や遊具に屋根を付けるなどして、雨天や夏季でも楽しめるようにして欲しい。	2	
梅小路公園の石畳は、見た目は良いが、転びやすい。	1	
梅小路公園に駐輪場を増やして欲しい。	1	JR新駅周辺における、駐輪場の整備を検討していくうえで、参考にさせていただきます。

意見概要	件数	本市の考え方
《方策③：京都・日本の食文化の牽引》 13件		
京都市中央市場の整備について、高層化を図るのであれば、場内の物流をより機能的なものとなるよう、検討するべきである。	1	「食」の流通拠点である京都市中央市場の機能強化を推進するうえで、参考にさせていただきます。
京都市中央市場の整備について、特産物を海外に輸出することも視野に入れ、国の補助金も活用した物流調査を行ってはどうか。	1	
京の食文化・あじわい館、KYOCA(京果会館)をより多くの人に知ってもらい、利用してもらうための工夫が必要である。	2	
京の食文化ミュージアム・あじわい館、KYOCA(京果会館)を活用した食育・料理教室等に、積極的に取り組んで欲しい。	4	
「食」に関するイベント等を通じて、京都の食文化の魅力をもっと積極的に発信していくべきである。	5	
《方策④：地域に密着した商店街の活性化》 38件		
商店街の活性化に期待する。	7	日常生活に身近な商店街は、地域住民の生活を支えるとともに、地域コミュニティの重要な担い手としての役割を果たしています。人口の増加や集客施設の整備、JR新駅の設置により、新たな人の流れが生まれることを好機に、対面販売のよさや、きめ細やかな対応が可能であるといった強みをいかし、商店街の主体的な取組を、行政や地域が支援し、商店街の活性化に取り組んでまいります。
商店街を活性化するためには、緻密な戦略を立てる必要がある。	1	
品質表示を徹底するなどして、スーパーマーケットとの差別化を図るべきである。	1	
商店街の営業時間の延長や休日営業に取り組んではいかがか。	2	
梅小路公園周辺における飲食機能の充実に取り組んで欲しい。	13	
商店街と周辺施設が連携し、来訪者への買い物優待等を企画すれば、商店街の活性化につながると思う。	6	
空き店舗に飲食店を誘致し、「食」の観点で特色のある商店街を目指してはいかがか。	4	
若者でも出店しやすい環境づくりに取り組んではいかがか。	3	
七条通の歩道を拡張し、そこでカフェ等の営業や、誰もが利用できるベンチ・テーブル等の設置に取り組んではいかがか。	1	
《方策⑤：KRPを核とした新事業・ソーシャルビジネスの創出》 1件		
本エリアで新たな事業が創出されることを期待する。	1	KRPを核に、新産業の創出、特に、ソーシャルビジネスの創出に積極的に取り組んでまいります。

意見概要	件数	本市の考え方
〈方策⑥: 鉄道の聖地としての飛躍〉 15件		
「鉄道」をテーマとした特色あるまちづくりを推進し、鉄道の聖地として飛躍することを期待している。	4	「鉄道」は、本エリアに新たな賑わいを創出するための一つの大きなポテンシャルであり、「鉄道」をテーマとした特色あるまちづくりを推進してまいります。
京都鉄道博物館の開業に期待している。	4	国内最大級の京都鉄道博物館の開業は、新たな賑わいの創出、本エリアの活性化に非常に大きな役割を果たすものと考えています。京都鉄道博物館が、より楽しめる施設となるよう、JR西日本と連携してまいります。
京都鉄道博物館に、外国語対応が可能なスタッフを配置してほしい。	1	
さいたまや名古屋にある鉄道博物館と連携した企画をすれば面白いと思う。	1	
モニュメントの設置等により、まち全体で鉄道を楽しめるエリアにしてほしい。	1	
様々な種類の電車が行き交う光景が見られるスポットを設けて欲しい。	1	エリア全体で鉄道を楽しめるエリアとするために、モニュメントの設置等に取り組んでまいります。
蒸気機関車や市電をエリア内で走行させれば、面白いと思う。	2	
鉄道に興味がない人も呼び込むことが重要である。	1	他の目的で本エリアを訪れた人にも、鉄道の魅力を感じていただける仕掛けづくり(例えば、モニュメントの設置やICT技術の活用など)に取り組んでまいります。

意見概要	件数	本市の考え方
<方策⑦:新たな地域資源の創出と歴史・文化資源の継承> 38件		
京都市中央市場の再整備に伴う「賑わいゾーン」を観光客をターゲットにした場外市場にすれば面白い。	2	「賑わいゾーン」については、食の拠点である京都市中央市場に隣接している立地環境や、JR新駅から至近の距離にある強みをいかし、他の集客施設、商店街等との連携も考慮しながら、新たな賑わいの創出につながる活用方法を検討してまいります。
京都市中央市場整備に伴う「賑わいゾーン」を、JR新駅と直結すべきである。	1	
島原全体を歴史が体感できるゾーンに整備すると面白い。	1	来訪者が島原の魅力に触れ、周辺に住む人や働く人もその魅力を改めて実感できるような取組を検討してまいります。
歴史が感じられるよう、角屋付近では、電車の走行音を低減してほしい。	1	
本エリアには、多彩な地域資源があることを積極的に発信すべきである。	1	来訪者の層を拡大し、リピーターを増やしていくためには、今ある多彩な地域資源に加えて、新たな魅力の付加や、これまでとは違う視点からの魅力発信に取り組む必要があると考えています。情報発信を担う人材の育成も含め、情報を発信する機会の増加、発信する内容の充実等に取り組んでまいります。
歴史ある京都ならではの魅力発信に取り組むべきである。	2	
島原の魅力をもっと発信すべきである。	1	
本エリアを案内できる人材を育成すべきである。	2	
梅小路公園周辺の倉庫群を観光資源として活用すれば、面白い。	1	エリア全体の新たな資源を増やすという観点から、参考にさせていただきます。
エリアにある様々な地域資源を連携させて、面的な魅力を発信していくことが必要である(例:新選組をテーマとしたイベント)。	7	エリア内の回遊性を向上させるためには、多彩な地域資源をつないでいくことが必要であると考えています。多彩な地域資源は、本エリアの大きなポテンシャルである反面、それ故の難しさもありますが、より幅広い層に来訪していただけるよう、積極的に取り組んでまいります。
複数の施設の入場料と公共交通機関の利用がセットになった、お得なエリアパスポートの発行など、資源と資源をつないで来訪者の回遊を促す企画を検討して欲しい。	7	
異なる性格の資源をつなぐのは、簡単ではない。	1	
情報発信ツールの多言語化等、インバウンドの視点を取り入れた取組を進めていくべきである。	5	マップ型情報冊子や案内板等の多言語化に取り組んでまいります。
早朝・夜間に、賑わいが創出できる取組を検討すべきである。	3	新たな来訪者の層を発掘するためにも、来訪者が早朝や夜間も楽しめるイベント等を検討してまいります。 【反映:方策⑦-6「新たな来訪者の層の発掘」】
JR新駅周辺が一日楽しめるエリアになってほしい。	2	
学生が主体となるイベントを実施すれば、面白い。	1	今後、「集客」の取組を推進していくうえで、参考にさせていただきます。

意見概要	件数	本市の考え方
《方策⑧:低・未利用地(公有地・民有地問わず)の戦略的活用の促進》 16件		
賑わいを創出できる新たな施設の整備を望む。	6	地域の特性に応じた施設等の誘致を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
外国人観光客を含め、観光客を誘致するためには、宿泊施設を整備することが必要である。	5	
梅小路公園の周辺に、図書館を新設して欲しい。	1	
町家を芸術家等に提供し、そこを見学できるようにすれば、面白い。	1	
地域の特性に応じた施設を誘致するために、助成制度を検討してほしい。	1	
KRP周辺において、物販機能を充実してほしい。	1	
JR嵯峨野線の高架下を有効に活用すべきである。	1	
《進捗管理》 3件		
事業の進捗状況や実施効果等を的確に把握することが重要である。	1	様々な地域主体が将来ビジョンを共有し、本エリアの活性化の取組を効果的かつ効率的に進めていくためには、事業の進捗状況や実施効果等を的確に把握し、それに基づいた施策の改善・見直しを行うことが必要であることから、「居住」「業務」「集客」それぞれの視点から指標を設定します。
状況に応じて、施策の改善・見直しを行う必要がある。	2	
《その他》 9件		
小風力・小水力発電等の設備を設置し、多くの人が見られるようにすれば、エリアのイメージアップになる。	1	将来構想を推進していくうえで、参考にさせていただきます。
エリア全体で、創エネ・省エネに取り組んではいかかがか。	1	
市バスやタクシーの乗務員のマナーの向上を望む。	4	
分かりやすい将来構想となっている。	2	多くの人に本将来構想を手にしていただくために、より分かりやすい将来構想となるよう、イラストを掲載するなど、工夫します。 【反映:将来構想冊子】
イラストがあれば、より分かりやすい将来構想になると思う。	1	